

渡辺大三

週刊 NEWS



【会派 NEWS】 2019(平成 31)年 3 月 20 日号 週刊 Vol.12
お気軽にご連絡ください 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301
TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

土木費 1 位、教育費は最下位 来年度予算、市民一人当たりの予算額

現在開会中の定例議会で、4 月から始まる来年度の予算が審査されています。

小金井市は今年 12 月 8 日に市長選が行われますので、西岡市長が市長選前に編成する最後の当初予算(通年予算)ということになります。

今後何回かに分けて予算の特徴や内容などについてご紹介したいと思います。

今回は、一般会計予算の「全体像」についてです。以下は、主な歳入と主な歳出について、多摩 26 市における予算額(市民一人当たり)の順位を示すもので、私の要求で市長側が作成した資料です。まずはご覧ください。

歳入 多摩 26 市における順位

市民税	7 位
固定資産税	16 位
軽自動車税	22 位
たばこ税	26 位
都市計画税	4 位
地方消費税	21 位
地方交付税	20 位
使用料	17 位
手数料	12 位
国庫支出金	13 位
都支出金	11 位
財産収入	22 位
寄付金	18 位
繰入金(貯金の取り崩し)	9 位
繰越金(前年度より)	8 位

市債(借金)	22 位
歳入合計	23 位

歳出 多摩 26 市における順位

議会費	12 位
総務費(企画、総務、文化等)	25 位
民生費(高齢者、障がい者等)	22 位
民生費(保育、学童保育等)	9 位
民生費(生活保護)	18 位
保健衛生費	23 位
清掃費(ごみ処理等)	3 位
農林費	26 位
商工費	18 位
土木費(開発及び道路等)	1 位
消防費(消防及び防災)	18 位
教育費	26 位
公債費(過去の借金の返済)	12 位
歳出合計	23 位

小金井市の特徴は、市民税は高い方から 7 番目に位置しているながら、歳入合計額では 23 位にまで順位を下げていることです。歳出合計額も 23 位と低迷する結果となっています。

歳入歳出総額の順位を上げる方法(より多くの市民サービスを展開する方法)はいくつかありますが、最悪なのは「増税」によって順位を上げる方法です。別の方法を考えるべきです。

具体的には二つの方法だろうと私は考えています。

一つには、職員人件費などの固定費を徹底的に抑制して財源を創出し、それを「呼び水」にして国や東京都からの補助を得て行う事業(市民サービス)を拡大するという方策。もう一つは、市内の土地(とりわけ主要な道路の沿道地区)について、他の市に比べて非常に貧弱な用途容積をかさ上げして他市並みとし、固定資産税・都市計画税・法人市民税の増収を増やすこと(増税ではなく、資産価値を高めて増収を図る)です。

しかし、西岡市長は、いずれの方法に関しても取り組みができていないどころか、就任以降、「人件費削減」との公約に反して、固定費である職員人件費を大幅に増やしてしまいました。非常に不適切だと思います。

今回の予算の特徴は、①土木費への予算措置が多摩 26 市で 1 位になっている反面、民生費(高齢者・障がい者)が 22 位、教育費は最下位(26 位)と低迷していること。②民生費(児童)に関しては、国や都の積極策を活用し、9 位と「中の上」に位置していること。③市長就任以降に大幅に職員人件費を増やしたため、引き続き高額で推移していること。と整理できると思います。

西岡市長の公約は「子育て環境日本一」でしたが、必ずしもその公約を達成できる予算にはなっていません。私は今回の予算審査にあたって「子育て環境日本一」にするための施策の一覧表の提出を求めましたが、西岡市長は提出できませんでした。どの項目を改善すれば「日本一」になるか分かっていないのに、「日本一」と公約するのは「誇大宣伝」だと私は思います。

市庁舎＋福祉会館建設 基本設計業者を選定

3月19日の市議会(庁舎及び福祉会館建設調査特別委員会)で、西岡市長は、新庁舎と新福祉会館を複合する新施設の基本設計業者の選定に関して報告を行いました。

3月16日に開催した「小金井市新庁舎・(仮称)新福祉会館建設基本設計委託事業者選考等委員会」の二次選考において、5者の中から事業候補者及び事業候補次点者を以下の通り選定したとの内容で、市長は、「今後は契約締結に向け、市と候補者において協議を行う」としています。

◆事業候補者

株式会社 佐藤総合計画

◆事業候補次点者

大建設計・雄建築事務所 共同企業体

速報

こんな「天下り」許せません

社会福祉委員への意図的な報酬過少支給問題に関連して、長期にわたって問題解決をせずに放置し、虚偽内容の公文書を社会福祉委員に交付するなどの問題行動をおこなっていた市の元福祉保健部長が、定年退職後、西岡市長の推薦により、市の財政援助団体(勤労者福祉サービスセンター)の事務局長職に天下っていたことが判明しました。

先日の予算特別委員会における私の追及に対して、市側が事実関係を認めました。

市民や議会を馬鹿にしているとしか思えません。

(次号で詳しくお伝えします)

脱ムダで市政を変える！

渡辺大三 プロフィール

1966年5月2日、岩手県奥州市生まれ。秋田県、宮城県、山形県を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(本社＝仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993年、小金井市議選に26歳で初当選。以降7期連続当選(直近4期は無所属で立候補)。「脱ムダ改革」を掲げ、小金井市政のムダ遣いや不正を厳しくチェック。

現在＝小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京都の地域政党「自由を守る会(代表＝上田令子都議会議員)」幹事長。市議会では議会運営委員長を務める。

日々の市議会報告、活動報告、雑感

Twitter、facebook に掲載しております。「渡辺大三 HP」からアクセスできます。ぜひお読みください。

<http://www.daizou.org/>

NEWS 発行カンパのお願い

みずほ銀行 小金井支店 普通 1414875

口座名 情報公開こがねい

(お振込み後、お名前とご住所をお知らせください。領収証をお送りします/外国籍の方はカンパができませんのでご注意ください)